

### 3 埋蔵文化財の保存の充実

#### (1) 埋蔵文化財保存体制

県土の開発の進展にともない開発側との事前協議が増加しているが、遺跡の保存に対する県民の関心も高まっており、埋蔵文化財保存対策が急務となっている。そのため、発掘調査体制を年々強化し、(財)福島県文化センター遺跡調査課に逐次定数増加を進めてきた。現在、財団職員33名(含む嘱託1名)、派遣職員29名、計62名となっている。

(財)福島県文化センター遺跡調査課職員定数

年度	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62
人員	9	15	20	23	26	26	30	40	44	47
年度	63	元	2	3	4	5	6	7	8	9
人員	47	55	60	60	62	62	62	62	62	62

#### (2) 開発事業地内の保護対策

開発事業地内の遺跡の保護は、①遺跡の所在・範囲・性格等を明らかにする「分布調査」の結果により、②事業者と保護策を「保存協議」し、③現状保存できない場合は、「発掘調査」により調査報告書を作成し「記録保存」することで対応している。

##### (ア) 分布調査

開発地内の詳細な分布調査を行い、遺跡の保存対策の資料とするもので、表面調査と試掘調査が行われる。表面調査は常磐道路線内20遺跡、あぶくま南道路線内59遺跡、会津縦貫北道路線内24遺跡、試掘調査は常磐道路線内26遺跡、福島空港公園内9遺跡、県営かんがい排水事業相馬第二地区5遺跡について実施した。

##### (イ) 保存協議

前年度からの継続協議を含め、次の事業について関係機関と保存協議を実施した。

原町火力発電所、請戸川農水事業、相馬第二農水事業、あぶくま南道路、会津縦貫北道路、常磐自動車道、摺上川ダム、福島空港公園及び県内各地の県営ほ場整備等の関係機関、国道・県道の工事事務所等。

##### (ウ) 発掘調査

県教育委員会では、開発に伴う発掘調査を(財)福島県文化センターに委託し、下記の遺跡につき実施した。

空港公園：関林Cほか1遺跡(2,300㎡)、常磐道：小松館跡ほか5遺跡(15,000㎡)、原町火力発電所：大迫遺跡ほか1遺跡(13,140㎡)、摺上川ダム：獅子内遺跡ほか3遺跡(27,000㎡)、あぶくま南道路：上宮崎A遺跡ほか10遺跡(58,820㎡)、請戸川農水：北向A遺跡ほか2遺跡(1,000㎡) 相馬第二農水：小原田遺跡(200㎡)、合計14遺跡(151,200㎡)及び報告書刊行である。

また、県内の各市町村における開発事業関連の発掘調査は、市町村教育委員会が実施しているが、遺跡の重要性や調査体制を考慮し、必要に応じ県が指導している。

主なものは、以下である。

	市町村名	遺跡名		市町村名	遺跡名		
県	福島市	勝口前畑遺跡	中	小野町	矢大臣遺跡		
	〃	宮畑遺跡		大越町	岡平遺跡		
	〃	台畑遺跡		船引町	二ツ森A遺跡		
	南	〃	勝口前畑遺跡	南	白河市	小峰城跡	
		〃	浜井場遺跡		〃	小峰城跡	
		〃	菅原遺跡		〃	舟田中道遺跡	
		〃	城裏口遺跡		〃	夕日遺跡	
		〃	岸窯跡		〃	上根田ケ入遺跡	
		〃	八幡塚古墳		〃	舟田中道遺跡	
		〃	西B・C遺跡		〃	小峰城跡	
〃		宮畑遺跡	棚倉町		棚倉城跡		
北		川俣町	河股城跡		会	会津若松市	若松城郭内武家屋敷跡
		国見町	東越山館跡			猪苗代町	笹森C遺跡
	保原町	熊野塚古墳群	〃	惣座遺跡			
	〃	熊野塚古墳群	〃	大林遺跡			
	〃	金華山塚古墳群	喜多方市	大沢遺跡			
	大玉村	星内遺跡	塩川町	古屋敷遺跡			
	〃	星内遺跡	〃	高森山遺跡			
	津	郡山市	清水内遺跡	津		山都町	下屋敷遺跡
		〃	西原遺跡群			会津高田町	権現山下遺跡
		〃	山王林遺跡			会津本郷町	下野街道(南山通り)
〃		大安場古墳	南会津		田島町	寺前遺跡	
県		〃	荒井猫田遺跡		相	相馬市	地ノ内遺跡
		〃	山田C遺跡			楢葉町	植松遺跡
		〃	高倉栗遺跡			原町市	下地高平遺跡
		〃	清水台遺跡			〃	町遺跡
		〃	阿良久遺跡			〃	泉廃寺跡
		〃	大槻向原遺跡			〃	蛭沢遺跡群
	中	須賀川市	古館遺跡(古館館跡)	双		〃	町遺跡
		〃	柴町遺跡			〃	川内迫B遺跡
		〃	しども柄館跡			〃	泉廃寺跡
		〃	星野宮館跡(松塚館跡)			〃	法懂寺跡
石川町		三芦城跡	〃		出口遺跡		
玉川村		滝作B遺跡	〃		泉廃寺跡		